

GS1 Japanパートナー会員制度

- GS1 Japan の 会員制度 -

GS1 Japan (一般財団法人 流通システム開発センター) 2025年 4月





1. 会員制度の目的

- 流通業界の国際標準であるGS1標準は標準コードの利用だけではなく、 自動認識技術、情報連携・共有と流通活動の全般のソリューションとして 利用される場面が拡大しています。
- 流通業の情報システム化に関わる各種キーワード(GS1標準、EPC、EDIなど)を中心として、システム化事例、最新の技術動向、業界動向、国際動向などの情報を共有し、流通業界全体のシステム化、標準化を推進することを目的とします。



2. サービス内容 1/5

各種セミナーの開催

- **セミナー** (旧称「定例セミナー」)
 - GS1 EPCglobal標準の導入事例紹介
 - 流通BMSの導入事例紹介
 - 企業における情報システム化の最新動向 会員企業による事例紹介 など
 - 業界のキーパーソンによる講演
 - RFID技術講座
 - GS1標準に関する最新情報 など

見学会の開催

- 国内の各種施設の視察
 - 小売業や卸売業などの物流センター
 - 商品メーカーの製造工場や物流センター
 - IT企業の情報処理センター
 - 新マテハン機器・物流システムの見学 など

公開セミナー

- 国内外の流通業界の動向
- GS1標準によるオムニチャネル環境の業務革新





2. サービス内容 2/5

企業活動の支援

- 有料技術講座の優待制度
- 会員企業主催のセミナー・展示会等に対する特別後援・協力 (当財団会員制度webページ上でのリンク掲載を含む)
- GS1標準に対応したバーコード関連機器の製品情報を掲載 (当財団webページの「GS1 AIDC標準 自己適合宣言 製品リスト」に掲載)
- 「GS1標準対応バーコード・EPC/RFID機器 製造・販売会社リスト」に掲載※1 (当財団webページにある同名リストに掲載、また冊子版を各種展示会で配布)
- 当財団webページに製品紹介(企業情報を含む)を掲載※2
- 当財団発行の資料への広告掲載(優待料金)
 - 「GS1 Japan Review」(2回/年)、「GS1 Japan News」(6回/年)
- 日本経済新聞社主催「リテールテック」の当財団ブースへの出展 (現在休止中)

※1:法人会員のみ対象

※ 2:流通BMSロゴ使用許諾企業等の条件あり



2. サービス内容 3/5

GS1 Japan パートナー会員ロゴマーク使用許諾

- チラシやパンフレット、名刺、webページなどに、会員ロゴマークの使用が可能です。
- GS1 Japan パートナー会員ロゴマーク(4種)









※事前にお申し込みが必要です。 また、使用規約に則っていただく必要があります。



5

2. サービス内容 4/5

「GS1 Japanパートナー会員 製品検索」への掲載

- 当財団の webページ上に構築したシステム 『GS1 Japanパートナー会員 製品検索』に 御社製品の情報を掲載いただけます。





6

2. サービス内容 5/5

資料配付

- 当財団発行の冊子・パンフレット等の配付
 - 「GS1 Japan Review」 (2回/年)
 - 「GS1 Japan News」 (6回/年)
 - 「流通情報システム化の動向」(1回/年)
 - 「流通関係資料(A6版)」(1回/年)
 - 各種パンフレットやガイドライン

など

各種セミナー・展示会の案内

• 流通関連の各種ITイベントの開催情報の提供 (一部のイベントについては無料招待券も含む)



3. 年会費

- 各企業様の売上高を基準とした会費設定
 - 売上高 = 企業規模 = 情報共有できる人数 と考えさせて頂き、会費設定しております。

売上高(億円)	年会費※(円)
~10未満	30,000
10~100未満	70,000
100~10,000未満	180,000
10,000~	300,000

※税抜:別途消費税を徴収いたします 10月以降に入会された場合、初年度の会費は半額となります



4. 2024年度 イベント開催実績

2024年度イベント実績

開催日	イベント名	主なテーマ・議題
2024 /4/25	見学会	イオン ネット専用スーパー「グリーンビーンズ」自動倉庫 イオンネクスト(株)・誉田顧客フルフィルメントセンター(千葉市緑区)
2024 /5/14	第1回セミナー	・現在の日本における小売業の環境について・海外リテール業界との28年・GS1の動向 -明日を変革し続けて50年-
2024 /7/9	第2回セミナー	・製・配・販連携協議会における物流効率化の検討状況について ・ヘルスケア分野で利用が進む様々なGS1標準 - 国際動向と海外の医療機関での取り組み -
2024 /10/22	第3回セミナー	 GS1事業者コード最新動向 GTINと商品情報を簡単に登録・管理・PR!~GS1 Japan Data Bank -商品情報-の紹介~ Verified by GS1と新サービスGS1事業者コード情報確認サービスのご紹介 GLNデータベースの刷新 ~GS1 Japan Data Bank -事業者・ロケーション情報-のご紹介~
2024 /11/12	第4回セミナー	・すべての人々に安全な食品を ~GFSIの概要とその活動~ ・GS1標準を活用した物流可視化・効率化~持続可能な加工食品物流の構築にむけて~
2025 /2/19	<一般公開セミナー> GS1標準によるオムニ チャネル環境の業務革 新2024	・将軍珈琲ものがたり 〜コーヒー文化を広げるサザコーヒーの店舗ネット戦略〜 ・世界のネット販売で利用拡大するGS1標準 ・LazuliのPDPの取り組みと流通システムの未来像





問合せ窓口

GS1Japan (一般財団法人 流通システム開発センター) GS1 Japan パートナー会員制度事務局

https://www.gs1jp.org/group/partnership/ partnership@gs1jp.org



